

第3節 国家安全保障戦略の概要

1 国家安全保障会議

近年、わが国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しており、わが国が対応すべき安全保障上の課題は山積している。こうした中においては、内閣総理大臣を中心とする政治の強力なリーダーシップのもと、戦略的観点から国家安全保障に係る政策を進めていく必要がある。そのため、わが国の安全保障に関する重要事項を審議する機関として、内閣に国家安全保障会議が設置されており、13（平成25）年12月の創設以来147回（17（同29）年5月末時点）開催され、国家安全保障に関する外交・防衛政策の司令塔として機能している。「国家安全保障戦略」や「防衛計画の大綱」（防衛大綱）もこの国家安全保障会議における審議を経て決定されている。

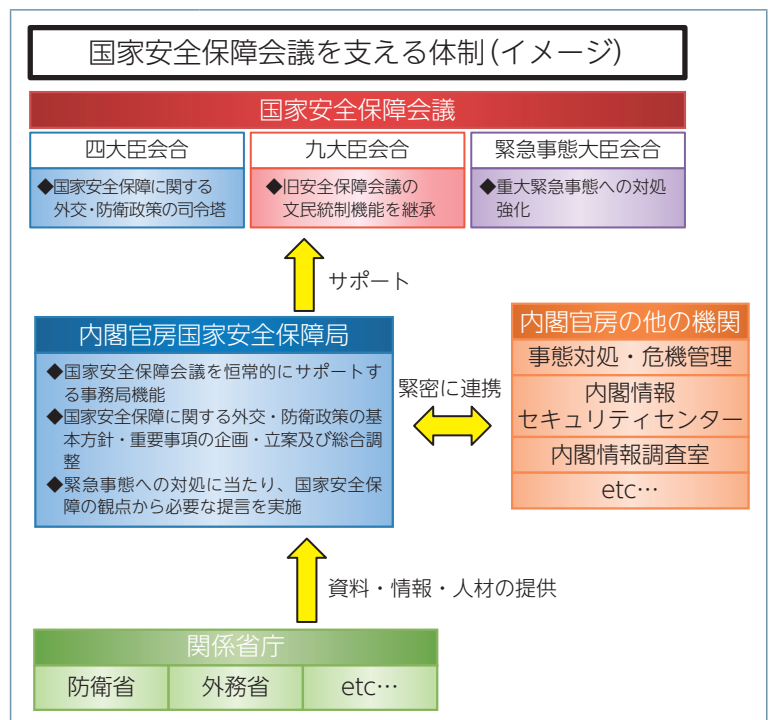
国家安全保障会議を恒常的に支えるための事務局として、内閣官房に国家安全保障局が設置されている。同局は、国家安全保障に関する外交・防

衛政策の基本方針や重要事項の企画・立案及び総合調整の機能も有しており、政策面で関わりの深い関係行政機関が、人材、情報両面においてサポートしている。同局には防衛省からも多くの事務官、自衛官が出向しており、政策立案に必要なアイデアや国際軍事情勢などの情報が適時に提供されている。

このように国家安全保障政策に関する企画・立案機能が強化された結果、わが国の安全保障に関する制度的な整備が実現しているほか、安全保障上の新たな課題などに係る政策の方向性が示されるようになってきている。また、国家安全保障会議で議論された基本的な方針の下で、個々の防衛政策が立案され、意思決定の迅速化も図られるなどしており、防衛省における政策立案、遂行機能の向上にも大きく資するものとなっている。

【参考】 図表Ⅱ-1-3-1（国家安全保障会議の体制）

図表Ⅱ-1-3-1 国家安全保障会議の体制



北朝鮮の弾道ミサイル発射事案について開催された国家安全保障会議の様子【内閣広報室提供】

2 国家安全保障戦略

1 わが国の国家安全保障政策の体系

13(平成25)年12月に国家安全保障会議と閣議において決定された国家安全保障戦略は、外交政策及び防衛政策を中心とした国家安全保障の基本方針として、わが国として初めて策定したものであり、長期的視点から国益を見定め、今後どのように対応していくべきか、わが国がとるべきアプローチを導き出している。これは、それまでのわが国の防衛政策の基礎として置かれていた「国防の基本方針」に代わるものである。

さらに、国家安全保障戦略を踏まえて策定された防衛大綱は、今後のわが国の防衛の基本方針、防衛力の役割、自衛隊の具体的な体制の目標水準などを示している。各種防衛装備品の取得や部隊の運用体制の確立などの防衛力整備は一朝一夕にはできず、長い年月を要することから、防衛大綱は中長期的見通しに立ち策定されている。国家安全保障戦略と防衛大綱はともにおおむね10年程度の期間を念頭に置いている。

「中期防衛力整備計画」(中期防)は、防衛大綱で示された防衛力の目標水準の達成のために、5か年の経費の総額の限度と主要装備の整備数量を明示したものである。年度予算は中期防を事業として具体化したものであり、情勢などを踏まえ

て、年度毎に必要な経費を計上するものである。

なお、これまでは防衛大綱において防衛政策を中心にわが国の安全保障に関する基本方針がある程度記述してきたが、国家安全保障戦略において外交政策及び防衛政策を中心とした国家安全保障に関する基本方針を示したことに大きな意義がある。

Q 参照 図表Ⅱ-1-3-2(「国家安全保障戦略」、「防衛大綱」、「中期防」及び年度予算の関係)

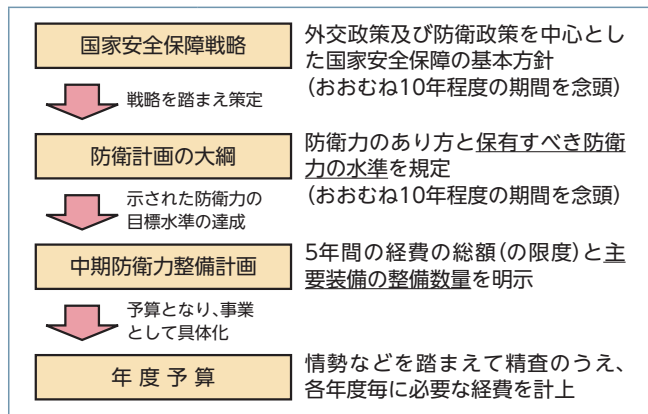
2 国家安全保障戦略の概要 —国際協調主義に基づく積極的平和主義—

わが国は、これまでの平和国家としての歩みを引き続き堅持し、また、国際政治経済の主要プレーヤーとして、国際協調主義に基づく**積極的平和主義**の立場から、わが国の安全及びアジア太平洋地域の平和と安定を実現しつつ、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保に、これまで以上に積極的に寄与していく。

以上の基本理念を具体的政策として実現するにあたり、国家安全保障戦略では、わが国の国益・目標を明確にしたうえで、それらに対して採るべき戦略的アプローチを示している。

Q 参照 図表Ⅱ-1-3-3(国家安全保障戦略の概要) 資料5(国家安全保障戦略(概要))

図表Ⅱ-1-3-2 「国家安全保障戦略」、「防衛大綱」、「中期防」及び年度予算の関係



Keyword 積極的平和主義 とは

国家安全保障戦略に記述されている国家安全保障の基本理念であり、わが国がその国力にふさわしい形で、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保にこれまで以上に積極的に寄与していく姿勢を指す。

図表Ⅱ-1-3-3 国家安全保障戦略の概要

国家安全保障の基本理念＝国際協調主義に基づく積極的平和主義		
国益	◇わが国の平和と安全を維持し、その存立を全うする ◇わが国の平和と安全をより強固なものとする ◇普遍的価値やルールに基づく国際秩序を維持・擁護する	
目標	◇必要な抑止力を強化し、わが国に直接脅威が及ぶことを防止 ◇日米同盟の強化、域内外パートナーとの信頼・協力関係の強化などにより、アジア太平洋地域の安全保障環境を改善し、脅威の発生を予防・削減 ◇グローバルな安全保障環境を改善し、繁栄する国際社会を構築	
わが国が取るべき国家安全保障上の戦略的アプローチ		
1	わが国の能力・役割の強化・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 外交の強化 ● 総合的な防衛体制の構築 ● 領域保全に関する取組の強化 ● 海洋安全保障の確保 ● サイバーセキュリティの強化 ● 国際テロ対策の強化 ● 情報機能の強化 ● 防衛装備・技術協力 ● 宇宙空間の安定的利用、安全保障分野での活用 ● 技術力の強化
2	日米同盟の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 日米間の安全保障・防衛協力の更なる強化 ● 安定的な米軍プレゼンスの確保
3	国際社会の平和と安全のためのパートナーとの外交・安全保障協力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 韓、豪、ASEAN諸国、印：協力関係の強化 ● 中国：「戦略的互惠関係」の構築 ● 北朝鮮：拉致・核・ミサイルといった諸懸案の包括的解決に向け、具体的な行動を求めていく ● ロシア：あらゆる分野で協力を推進 ● 地域協力・三か国の枠組みの積極的な活用 ● アジア太平洋地域の友好諸国との協力 ● アジア太平洋地域外の諸国との協力
4	国際社会の平和と安定のための国際的努力への積極的寄与	<ul style="list-style-type: none"> ● 国連外交の強化 ● 法の支配の強化 ● 軍縮・不拡散に係る国際努力の主導 ● 国際平和協力の推進 ● 国際テロ対策における国際協力の推進
5	地球規模課題解決のための普遍的価値を通じた協力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 普遍的価値の共有、開発問題などへの対応と「人間の安全保障」の実現、開発途上国の人材育成に対する協力、自由貿易体制の維持・強化、エネルギー・環境問題への対応、人と人との交流の強化
6	国家安全保障を支える国内基盤の強化と内外における理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 防衛生産・技術基盤の維持・強化 ● 情報発信の強化 ● 社会的基盤 ● 知的基盤の強化